

# 神戸電子専門学校 2019年度シラバス

## ■科目基本情報

科目名	制作実習	科目コード	1690
シラバスコード	191A0H-1690		
授業時数/週	4 時間		
開講年次・学期	2年・後期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	高橋保司, 山口あかね, 佐藤大輔, 植田幹浩		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程		連携企業等	
備考			

## ■科目詳細情報

授業概要	ソフトⅠ・Ⅱコースで学習・習得した知識や技術をベースに、グループで開発を行い、年度末に発表を行う。単に開発を行うだけでなく、UIやUX、利用ターゲット等を意識した開発を行う
到達目標	グループでテーマを決め、メンバー間で役割を決めて協力しながら開発を進めることができるようになる。利用ターゲットを意識して、UIやUX等を考慮したシステムを考えることができるようになる
授業方法	グループで課題制作を行い、成果物に対するプレゼンテーションを行う
実践的教育の内容	学生がグループでプログラム開発をするに当たり、進捗が予定通りに進まない、思ったように開発できない等つまづいている個所を、実務経験をもとにアドバイスを行い、開発のサポートをする
評価方法	グループで作成した課題制作物(50%)、発表内容(50%)で評価する。グループ内で相互評価(貢献度等)を行い、グループ評価に対し増減を行ったものを個人評価とする
授業外における学修	授業時間外においてもグループ間で連絡を取り、開発を進めること
授業計画	第1週 グループ課題制作(1) プログラミングⅢでの発表後の変更点を確認し、何を制作か決める
	第2週 利用ターゲット 利用ターゲットを確定し、ターゲットの求めるものの情報収集を行う
	第3週 競合プログラム・サービス 競合するプログラム・サービスがないか情報収集する
	第4週 差別化 競合するプログラム・サービスとの差別化する点を決める
	第5週 レビュー(1) 利用ターゲット・競合との差別化に関し、担当教員に対しレビューを行う
	第6週 グループ課題制作(2) ターゲット・差別化・UX・UIを考慮し、制作するプログラム・サービスを確定する
	第7週 レビュー(2) 利用ターゲット・競合との差別化に関し、担当教員に対し再レビューを行う
	第8週 グループ課題制作(3) 使用できるリソース(人・物)を考慮し、制作するプログラム・サービスを修正する
	第9週 レビュー(3) 修正後の案を、担当教員に対しレビューを行い、確定する
	第10週 グループ課題制作(4) グループごとに制作を進める
	第11週 レビュー(4) 進捗状況を教員が確認する
	第12週 グループ課題制作(5) 制作を進めるとともに、ドキュメントの作成も行う
	第13週 グループ課題制作(6) 制作を進めるとともに、プレゼンテーション資料の作成も行う
	第14週 レビュー(5) 完成度合いを教員が確認する
	第15週 グループ課題制作(7) 完成した提出物を提出する
	第16週 発表会 各グループが成果物に対するプレゼンテーションを行い、相互評価を行う
	第17週 デジタルワークス 発表会で優秀だったグループが分野全体の発表会で発表、及びその準備を行う
教科書・教材	なし
参考文献・資料	特になし
履修上の留意点	特になし